

# 旅と文化

発行所 東京都千代田区  
神田神保町2-30  
財団法人全国  
修学旅行研究協会  
電話(30)0531・2426  
編集兼発行人  
永井 照



## 春 頌

### 年頭の挨拶

財団法人 全国修学旅行研究協会  
理事長 山本 種一



明けましておめでとうの挨拶です。瑞雲た  
だり昭和三十四年の新春を迎え、各位の  
大いにお健勝御多幸でありますこと御祈  
りいたします。  
昨年中は、日本の教育界としては、かの  
勤務評定をめぐりまして騒々すべき事態が  
あつた中にあつても全国何百万といふ児



### 年頭の辞

文部大臣 灘尾弘吉

昭和三十四年を迎えるにあたり  
一言所感を述べて御あいさつと  
します。  
思えば世界の情勢は、種々問題  
をはらみつつも、戦火の脅威をう  
けることもなく、われわれ一同平  
和な新年を迎えることができました  
ことは、まことに御めでたい限  
りも、ますます御同慶に堪えな  
い次第であります。  
今年も、いよいよ今後永久に、世界  
に平和が維持され、人類による文  
化創造の努力が着々と積み上げら  
れていくことを祈念してやみませ  
ん。  
わが国が世界の進運に於て榮  
榮をいたし、普遍的にしてしかも  
個性ゆたかな文化の創造を実現し  
ていくためには、まず文教の振興  
に格段の努力を払い、もつて国政  
の根本をつちかなければなりません。  
わたくしは、わが国の文教  
行政の責任者として、年頭に於て  
つて、いまさらながらその責務の  
重大さを肝に銘じ、決意を新たに  
してこの次第であります。  
文教は国家百年の大計でありま  
すから、大く時勢の要求を反映さ  
せる半面、軽々に急激な変革を圖  
るべきではありません。  
わたくしが今年力を入れよう  
と思ふ施策も従来に比して、特に目  
新しいものではありませんが、年  
来関係者間で刷新充実の必要が  
痛感されながら、なお完全な実現  
を見ていないものも問題に

### 立派な修学旅行を



日本教職員組合  
中央執行委員長  
小林 武

修学旅行は、児童、生徒にとって最大の楽しみ  
であるばかりでなく、教育の重要な一面をな  
しているといえる。  
賑や、見学地である、はげやかな若い人達の顔  
を眺めるとともに、その責任者である同僚の苦勞を思つて同情し、旅行  
の平安を心から祈るのものが、この例である。  
この修学旅行が真に教育的に、しかも安全快適  
に行われるためには、一つは学校教育の一環と  
しての系統的、総合的な日々の研究が必要であ  
り、一つには輸送、宿泊等、修学旅行関係業者の  
協力が強く要請される。こうした二面の向上と改  
善なくして修学旅行の完べきは期せられぬ。  
全修協がこうした研究の団体として発足し、全  
国教職員との密接な関連のもとに、研究の事業を  
進められていることは感謝に堪えない。



### 年頭のあいさつ

財団法人 全国修学旅行研  
究協会常務理事 事務局長  
永井 照

輝かしい新春を迎え、全国の会  
員の皆様並に先方に対し謹んで  
新年のお慶びを申し上げます。  
本協会も法人設立第一回目の新年  
を迎え、全国支部組織も殆ど完了  
し、各県教育界の重鎮約一五〇〇  
名を会員とした強力な組織が確立  
され修学旅行の改善向上の為大きな努  
力を傾注しておりますが、これが  
結果される日こそ修学旅行が一層有意  
義な教育的価値を發揮するものと  
自負している次第であります。  
今年を迎えるに当り、事業の  
一端を回顧し、今後の抱負を申  
上げ新年の御挨拶と致します。  
三十三年度教職員の実地研修を  
目的とした北海道、九州一方面的  
研修旅行は第一回目の経験と反省  
に基づいて、コース、日程、経費  
等を決定し、各県支部が中心とな  
って募集しましたが、たまたま動  
評問題等で各県教育界は未曽有の  
混乱を来し、非常な支障があつた  
にも拘らず、全国で約三千人程の  
先方が参加し、有意義に終了す  
ることが出来ました。  
三十四年度の研修旅行は第二回  
目を更に検討を加え、特にコース  
は研修の立場から一部従来のコース  
を変更し最善のものとし、日程  
も短縮し、更に経費をもつと軽減  
し多数先方の参加を願つてこの  
次第であります。

### 行 視

新しい歳を迎えて先づ  
く賞詞を申し上げる。行視手  
も更に筆硯を新たに修学  
研究の一環を担う覚悟から  
なにとぞ努力すべし。  
全修協の昨  
年を省みて、  
北海道と九州  
の教職員研修の主権は勿論、  
修学旅行研究の指定、或は修学  
事態調査と、その教育界に貢  
献した実績は高く評価されて  
よい。  
旅と文化が更に内容を  
充実して、広く関心をもつ  
者の手に渡るよう努力して欲  
しいと希う。  
修学旅行の問題はとかくぶつ  
け本形式のものが事故をおこ  
し易い。今年  
こそ学校を牽引  
て真剣にこの問  
題とより組み修学旅行に  
あらゆる機関が協力援助  
の手をさしのべるべきだ。全  
修協全国の支部網はその推進  
母体たる強い信念をもつべき  
だ。



## 謹 賀 新 年

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 大阪府知事          | 赤間 文三         |
| 北海道知事          | 田中 敏文         |
| 九州知事           | 土屋 香鹿         |
| 福岡県知事          | 土屋 香鹿         |
| 全国都道府県教育委員長協議会 | 会長 木下 一雄      |
| 都道府県教育長協議会     | 幹事長 本島 寛      |
| 全国市町村教育委員会連合会  | 会長 赤井 米吉      |
| 全国連合小学校長会      | 会長 椎野 開蔵      |
| 全日本中学校長会       | 会長 竜沢 良芳      |
| 全国高等学校長協会      | 会長 両角 英運      |
| 日本教職員組合        | 中央執行委員長 小林 武  |
| 日本高等学校教職員組合    | 中央執行委員長 軽石 喜蔵 |
| 日本教育新聞社        | 社長 大山 恵佐      |
| 全国学校生活協同組合連合会  | 理事長 森 孝太郎     |
| 全国学校図書協同組合     | 会長 福岡 高       |
| 全国学校図書館        | 設備充実運動事務局     |
| 日本PTA全国協議会     | 会長 増田 要次郎     |